

羽ばたこう 明日へ

令和4年3月発行 第20号



酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会



日本スポーツ少年団顕彰（広野スポ少 工藤海蔵氏）



酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（バレーボール）



酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（剣道）

は適切なご指導をお願いいたします。

また今年度の本部指導者研修会は、スポ少の理念の一つである「スポーツを通して青少年のころとからだを育てる」に則り、県立米沢栄養大学より西田久美子先生をお迎えして「スポーツ栄養」について講演していただきました。バランスの良い食事で免疫力を高め、感染症予防に少しでも役立てていただければと思います（5ページに関連記事）。

ようやくスポ少世代へのワクチン接種も始まりましたが、これからも感染症対策を講じながらの活動になると思われますので、指導者並びに保護者の皆様をはじめ、関係各位より更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



酒田市スポーツ少年団本部

本部長 齋藤 勉

本部長あいさつ

スポーツ少年団活動を通して子どもたちの育成を



酒田市小学校体育連盟会長
(酒田市立田沢小学校校長)

出 嶋 幸

スポーツ少年団で指導にあたっていただいている皆様、運営に関わっている役員、保護者の皆様方には、スポーツを通して子どもたちの心身の健全育成にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルスの勢いは収まらない中、東京、北京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界のアスリートによって感動を与えられた年でした。

また、スポーツ少年団の活動に目を向けてみれば、昨年度と同様にコロナ感染状況によって活動が制限され、思うようになり組めなかった年であったかと思えます。しかし、このような環境の中でも本市スポーツ少年団に所属する2団体、個人を含む37名の選手が県大会を制し白崎資金スポーツ優秀選手表彰を受賞しました。残念ながら東北、全国大会は中止になった競技もありますが、県大会を勝ち抜いた実績を誇りとして次へのステップにして欲しいと思います。

さて、私はスポーツ少年団の指導経験はありませんが、長い間中学校に勤務して部活動(バレーボール)の指導に携わってきました。その経験の中で多くの生徒と出会い、生徒と共に味わった「喜びの涙」や「悔しさの涙」が懐かしく思い出されます。当時、私が指導した中学校区には、バレーボールスポーツ少年団が複

子どもたちが活躍できる環境を



酒田市スポーツ少年団本部、そして指導者の方々に
おかれましては、様々な感
染症対策を講じながら子どもたちの健全
育成にご尽力を賜り、心より敬意を表し
ます。

清 和 玄 詞

9月に開催した「山形県スポーツ少年団庄内地区協議会研修会」にて、グループ協議で「魅力あるスポーツ少年団活動で団員を増やすには」というテーマで話し合うために、事前に各スポーツ少年団の代表の方々にアンケート調査のご協力をいただきました。おかげさまで、各団における特色ある活動や団員確保の工夫を共有でき、魅力あるスポーツ少年団活動の創出への手助けとなりました。

さて、アンケートには「スポーツ少年団の活動方針(重視していること・スロウガン等)を教えてください」という質問があり、酒田市のあるスポーツ少年団がこう回答なさっていました。
「選手一人ひとりが挑戦し活躍できる場を与えたい」

私はこの回答を見て、今年度行われた東京オリンピックに出場した、スケートボード女子パークの岡本碧優選手を思い出しました。彼女はあの決勝で、高難度の技に挑み惜しくも転倒してしまいました。だが、大技に果敢にチャレンジした彼女を各国代表選手たちが担ぎ上げ、その健闘を称えられたのです。それだけでなく、出場した選手たちがお互いを認め合いハ

グしている…なんと素晴らしい光景だろうと、目頭が熱くなったのを覚えています。私たちはどうしても、試合で勝利することやメダルを獲得すること等の絶対的価値に目が行きがちです。もちろん、懸命に努力して勝利を収めた姿は立派です。しかし、誰もがメダル獲得を目指していません。選手やチームが最大の限のパフォーマンスを発揮し、そのチャレンジを称え合うという場面も、同じくらい素晴らしいです。2月に行われた北京オリンピックでも、平野歩夢選手のトリプルアックス、スノーボード女子ビッグエアの岩淵麗菜選手の技など、ここでは紹介しきれないほどの挑戦の場面を見ました。結果以外にも感動できるシーンがあり、スポーツの魅力を改めて感じたところで

子どもたちに経験してもらいたいことは、スポーツを好きになることや、仲間たちと協力すること等様々ありますが、ぜひ「挑戦すること」「みんなで認め合うこと」も、少年団活動を通して学んでもらいたいことです。

私も指導者として、今後運動部活動に関わる機会があると思いますが、スポーツ少年団で学んだ理念やオリンピックでの感動を胸に、子どもたちがいきいきとスポーツに取り組み環境を作っていきたいと思えます。そしてスポーツを楽しむ、生涯続けていくことができるように、地域・家庭・学校で一緒に頑張っていきたいと思います。

終わりに、酒田市スポーツ少年団の益々のご発展と指導者の方々や子どもたちのさらなるご活躍をご祈念申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

スポーツ少年団指導者としての役割

サッカー専門部会長 岡部 信之

指導者になって25年程、専門部会長になって10年以上の歳月が過ぎました。松原サッカースポーツの監督を務めながら、子どもが在学中にはPTA活動にも積極的に関わり、PTA会長も経験しました。現在も同窓会長と学校評議員を務めていますので、自分なりに普段の子どもの様子を知っているつもりです。

そうは言っても、やはりスポーツ活動を通して子どもたちと接することが一番多くなります。大会で好成績をあげて県大会に導き、より高いレベルまで団員のスキルを上げること、そして今は未熟であってもしっかり花開くことを夢見て練習に励んでいます。

そうした日常の中で、私は「サッカーが子どもたちのすべてではない」という考えを大切にしています。PTA活動等、サッカー以外で子どもたちと関わる時、往々にしてサッカーが上手いか・下手かという物差しで子どもたちを困らせてしまうことがあるからです。

子どもたちにとって一番大切なことは学校生活です。勉強はもちろん、運動会や文化祭の企画をしたり、植物を育てたり、生物を観察したり、地域の人たちと触れあったりして成長していきます。そうした生活の一部にスポーツがあるに過ぎません。それを忘れると、サッカーの巧拙に囚われたまま子どもたちを判断してしまうことがあります。

子どもたちの中にはプロを目指す子もいれば、友達がやっているから練習に来る子もいます。試合には結果が伴うため、勝つために上手い選手を起用することが

多くなってしまうですが、上手い選手は良い選手、下手な選手はダメな選手と考えてはならない、と自らを戒めながら子どもたちと接しています。

我々スポーツ世代の指導者は、初めてサッカーに触れる子どもたちを教えることが多く、その子どもたちが将来にわたってサッカーを好きでいてくれるか決める重要な役割を担っています。

我々の役目は、サッカーの楽しさを伝えそれを経験してもらうこと、そして次の中学校世代の指導者に引き渡すことです。今上手な選手が将来も良い選手とは限りませんが、今は下手でもいつか飛躍的に上達するかもしれない。将来的なことはわかりませんが、一つ言えることは我々スポーツ世代の指導者は、子どもたちの未来に触れているということです。

生活の一部にすぎないスポーツ活動だけで子どもたちを判断することなく、彼らが日々担っている学校生活を思い描きながら指導することがとても大切なことであると思います。



活動基本の再確認

野球専門部会長 長南 八重智

コロナ禍の大きな難局で、苦慮されて活動している皆様、本当にお疲れ様です。しばらくはウィズコロナ時をどのように行動していくかを、皆で考えながら進んでいかなければならない状況が続いております。

そんな今年度でしたが、明るい・すばらしいこともありました。小学校の甲子園といわれる、学童の全国大会でレンジャーズ野球スポーツがベスト16まで進んだ快挙がありました。そして、発足4年目を迎えた酒田ビクトリーガールズが、第4回の県大会で同率首位ながら、得失点差で準優勝になった大躍進がありました。

両チームとも、この大変な時においての活躍は、団員・選手はもちろんのこと、監督・コーチの指導者、保護者の皆様の多大なご苦労と準備があったと思われれます。本当にお疲れ様でした。おめでとうございます。喜びもひとしおだったことでしょう。これからも頑張ってください。

さて、この時期だからこそ、今一度、スポーツ少年団の活動の基本・理念を皆で再確認したいと思えます。スポーツ少年団指導者必携書では、スポーツでのスポーツを次のように意義付けています。

● 個人的にも、集团的にも喜びのあふれたものであること。

● 真剣さ、厳しさは指導者、団員が目指すのものであって親や、マスコミ等から強制されるものではないこと。

スポーツそれ自身がひとつの文化であり、教育的な価値があると思います。活動に携わる指導者・保護者は、常に愛情と英知をもって、無限の可能性をもつ子

どもたちに、健全育成を目指し、そしてそのスポーツの楽しさを体感できる指導をされるように切に望みます。「スポーツの生活化・生活のスポーツ化」を大切にしたいものです。

最後になりますが、大会時における会場設営等へのチームの団員・保護者の皆様の協力がとてもすばらしく、運営がスムーズに遂行できたこと、とても嬉しく、御礼申し上げます。それから、諸行事へも積極的に大勢の人が参加していただき、重ねて感謝申し上げます。それから、野球専門部の事務局長をはじめとする役員の皆様の、献身的な協力に心から感謝申し上げます。今後とも、野球専門部会と、野球の大好きな子どもたちをよろしくお願ひします。

〈追記〉酒田地区野球連盟の会長、事務局長をはじめとする野球関係者、皆様の努力のおかげで、中学生の女子軟式野球部が発足いたしました。「酒田ビクトリーガールズ」というチーム名です。



努力の結晶

レンジャーズ野球スポーツ少年団 大 瀧 創 介



【出場大会】
高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント
令和3年8月16日～22日／新潟県

僕たちレンジャーズは、「全国大会出場」をチームの目標とし、「一球を大切に失敗を恐れずチャレンジする」をモットーに、雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、グラウンドで練習してきました。

いよいよ5月から全国に向けての戦いが始まりました。地区予選では、ずっとチームで磨いてきた打撃を爆発させ優勝し、6月の県大会では、昨年の新人県大会敗戦の悔しさをバネに、全てコールド勝ちで優勝。県制覇そして全国大会出場が決まった時は、本当にうれしく目標を達成できた最高の瞬間でした。

全国大会は、8月17日から新潟県で開催されました。1回戦はシードのため2回戦が初戦です。悔いのないよう全力プレーを全うしようと挑んだ香川県代表との試合は、終始緊張していたけど1点差で競り勝つことができました。3回戦は、過去6回優勝、今大会でも優勝した大阪府代表に負けてしまったけど、全国大会初出場初勝利、県勢30年ぶりのベスト16の成績をあげることができました。全国大会では、

誰もが体験できない緊張感や楽しさ、全国屈指の強豪との試合、全てがとてもいい経験になりました。

一緒に練習してきたチームメイト、指導して下さった監督・コーチ、いつも応援してくれた家族、みんなで勝ち取った全国大会出場という「努力の結晶」は、何ものにも代えがたいものとなりました。この経験を励みに、何事にも失敗を恐れずチャレンジし、次のステージでも頑張りたいと思います。



全 国 大 会 に 出 場 し て

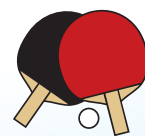
私は、きらり川南スポーツクラブで卓球をしています。日々の練習として、チームメイトとの試合や、フットワークを使う練習、サーブやレシーブ練習といったことをしています。コロナ禍の影響で去年まで各大会や遠征が中止になり、今年は少しずつですが、練習も出来るようになりとてもうれしく思っています。全国大会が決まるまで、地区予選は優勝、県大会は準優勝で全国大会を決めました。いつもあまり試合では緊張する事がないのですが、県大会では久しぶりの大会という事もあり体があまり動きませんでした。でもがんばって足を動かして、準優勝ではありましたが、全国大会に行ける事が出来てよかったです。

全国大会では、予選を突破するのが私の目標でした。毎日の練習の中で自分の気持ちのコントロールの仕方や、前向きな気持ちで試合にのぞむことをチームメイトから教わっているのでも、いつも通りのことをすれば大丈夫と思いつ試合にのぞみました。

いつもより緊張してしまい足が動かなかったのですが、なんとか予選を勝

がんばった全国大会

きらり川南スポーツクラブ(黒森スポ少) 榎 本 佳 純



【出場大会】
全農杯2021年全日本卓球選手権大会
(ホープス・カブ・バンビの部)
令和3年7月22日～25日／兵庫県

ち上がり決勝トーナメントへ行く事が出来ました。そこから気持ちが少し楽になり、普段通りの自分の試合運びが出来たと思います。

決勝トーナメントを2回勝ち上がり、結果、全国大会でベスト16という成績が残せました。とてもうれしかったけど、勝たなかった気持ちも大きく、次に対戦する時は絶対勝ちたいと思っています。

全国大会で勝つために、これから練習もいつも以上に集中してがんばることと、私生活や学校生活もしっかりして周りの方に感謝の気持ちを持ち、目標に向かってがんばりたいです。



日本スポーツ少年団顕彰を受賞して

広野スポーツ少年団 工藤海蔵

この度、思いがけず令和3年度日本スポーツ少年団顕彰という栄えある賞を受賞致しました。受賞に至る過程では、酒田市スポーツ少年団本部をはじめ、庄内地区協議会、県スポーツ少年団本部の皆様より厚いご後援があったものと、心より厚く感謝申し上げます。

私が所属する広野スポーツ少年団は、昭和44年10月、時の小学校長の呼び掛けに地域の保護者、各種団体の先達が呼応する形で創設されました。発足当初は剣道、卓球の2種目でスタート。以降、野球、ミニバスケットボールの複合団形式により50年間の歴史を積み上げてきました。発足時より、地域全体からの賛助金を頂戴し団活動を運営する、昨今では珍しい形態を保持しています。

地域コミュニティを基盤に、学校、PTA、体育振興会とのリンク、支援を受けながら「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に掲げ、各部とも積極的な活動を継続してきましたが、近年では、少子化、選抜肢の多様化等の流れを回避出来ず、団員の減少問題が相当深刻化していることも事実です。

時代の変化に直面しスポーツ少年団のあり方も大きく変わりつつある中、地域の良さを踏襲しつつ、更なる活動の充実を目指して行きたいと考えています。

発足当時、私は小学4年生。強くなりたいと思い、父の勧めを受け迷わず剣道部に入部。以降中学、酒商剣道部を経て、

社会人となってからも、育てて頂いた広野スポーツ少年団の指導員として子どもたちと共に汗を流して参りました。その後、団の会長を経て、現在は顧問・酒田市スポ少本部長として活動を継続しています。私自身指導者というよりは、成長の過程には常にスポーツ少年団の存在に支えられてきたものと自認しています。

スポーツ少年団での活動は、言わば社会の縮図に似て、スポ少団活動を通して他者との関わりや交流を深め、仲間を認め、理解尊重し、人としての成長に大きく関わる事になります。

私自身、色々な場面で子どもたちに教わる部分も多く、今もってこれで良いという心境には至れません。ただ、技術指導の前に「競技の本質は何か」はしっかりと伝えたいと思っております。剣道競技の本質は「亡故利他」にある事、自分の独善や、勝利至上主義、序列重視では無い事を自戒しています。成長の度合いは個々人それぞれ違います。早熟な子どもも晩成な子どもも、彼らが成長期に差し掛かった時に自然と伸びるように「基本と本質をしっかりと共有し、自分を信じる事が大切だ」と信じ、願ってもおられます。

社会構造の激変に翻弄されており、これがからもブレないよう地に足を付けた団育成活動を継続し、顕彰に恥じない取り組みを実践したいと思っております。

この度は誠に有難うございました。

令和3年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会

2月26日(土)に、ル・ポットフーにて「令和3年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会」を開催し、32名が参加しました。

今回は、山形県立米沢栄養大学健康栄養学部助手で、公認スポーツ栄養士として活躍されている西田久美子先生を講師としてお迎えし、「ジュニアアスリートの中からだづくりを考えた食事」は基本の形で免疫力アップ！というテーマで講演していただきました。

講演では、パフォーマンスを最大限に上げるために必要なこと、ジュニアアスリートのエネルギー摂取の考え方、良好な発育・発達のために気を付けるべきこと、食事のPFCバランス(たんぱく質・脂質・炭水化物のバランス)について等、図や表を交えながら分かりやすくご講義いただきました。

また、このご時世に気になる「免疫力」を上げるための食事のとり方、食材の選び方についてもご指導いただき、その一例として山形県名物の「芋煮」が免疫力向上に適した料理であることも教えていただきました。

講義の主な内容のまとめは左記のとおりです。

●食事の量

各自の年齢や体の大きさ、運動量(活動量)を考えて食べる。

●食事の内容

私たちは毎日の食事から生きていくために必要な栄養素をとっているのだから、バランスよく食べエネルギー不足に気を付ける。それぞれの食品は多く含む栄養素が異なるので、なるべくたくさ

んの食品を摂ることで栄養のバランスが整う。

●エネルギー不足を起さないために
基本的には1日3回の食事からいろいろな食品を食べることが大切。食べられないときは分食して食べ、不足分は補食で補う。

講義終了後は、講師の先生に熱心に質問する参加者の姿が見られたり、参加者から「栄養について学んだことがなかったのが勉強になった」という感想が寄せられたりと、スポ少指導者の栄養分野への関心の高さがうかがえた研修会となりました。

食事のバランスの考え方
エネルギー産生栄養素のPFCバランスを考える

P=たんぱく質 Protein (プロテイン)
F=脂質 Fat (ファット)
C=炭水化物(糖質) Carbohydrate (カーボハイドレート)

たんぱく質; 13~20%
脂質; 20~30%
炭水化物(糖質); 50~65%

(動物脂肪部は6~14歳7%以下、15~17歳は9%以下とする)
スポーツ選手は50%未満はならないように

例: 1日3000kcalの必要エネルギー量の場合
P(たんぱく質) 20%, F(脂質) 25%, C(糖質) 55%の場合
P=600kcal, F=750kcal, C=1650kcal

▲食事のPFCバランスの考え方(研修会資料より抜粋)

酒田市スポーツ少年団本部は指導者研修会を毎年開催しています。「こんな内容の講演が聞きたい」「〇〇を実施してほしい」などの要望があれば、ぜひ市スポ少本部へお知らせください。

令和3年度 事業報告

	事業名	期日	会場
大会	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月17日～18日	庄内空港緩衝緑地運動広場 168名
	第49回 同 野球大会	7月23日～25日	松山多目的運動広場他 209名
	第52回 同 卓球大会	8月22日	酒田市体育館 68名
	第48回 同 バスケットボール大会	10月9日～10日	国体記念体育館 270名
	第42回 同 バレーボール大会	11月3日	国体記念体育館 113名
	第46回 同 剣道錬成大会	11月3日	平田B&G海洋センター体育館 61名
	第29回県少年少女スポーツ交流大会【中止】	10月3日主会期	県内各地
	第48回酒田・遊佐スポーツ少年団交流大会【中止】	2月19日	酒田市武道館
研修関係	第4回ジュニアスポーツフォーラム シニア・リーダースクール	6月13日 8月17日～20日	オンライン開催 1名 オンライン開催 不参加
	第57回山形県スポーツ少年大会・ジュニアリーダースクール【中止】	7月30日～8月1日	山形県飯豊少年自然の家(飯豊町)
	第52回東北ブロックスポーツ少年大会【中止】	7月31日～8月2日	国立岩手山山青少年交流の家(岩手県)
	第59回全国スポーツ少年大会	9月19日～20日	オンライン開催 不参加
	庄内地区協議会研修会	9月25日	なの花ホール(三川町) 12名
	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会	10月24日・11月28日	県スポーツ会館 8名
	スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会	12月～1月	オンライン開催 2名
	スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会	1月23日	オンライン開催 不参加
	県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会	11月13日	響ホール(庄内町・サテライト会場) 7名
	市スポーツ少年団本部指導者研修会	2月26日	オンライン参加 4名 ル・ポットフー 32名
講習会	指導者講習会・技術指導講習会	7月31日・11月28日 1月8日・29日	バレーボール131名、野球122名 バスケットボール45名
表彰	酒田市スポーツ少年団本部表彰式【中止】 県スポーツ少年団表彰式	4月18日 11月13日	ル・ポットフー 県スポーツ会館(庄内：響ホール)
会議	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 庄内地区協議会理事会 ※2/7開催分は書面開催 庄内地区協議会代議員会 市町村スポーツ少年団事務担当者会議【中止】	随時開催 4月18日 5月14日・2月7日 5月14日 3月11日	書面開催 庄内総合支庁分庁舎 庄内総合支庁分庁舎 県スポーツ会館

令和4年度 事業計画(案)

	事業名	期日	会場
大会	第50回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月16日～17日	庄内空港緩衝緑地運動広場
	第50回 同 野球大会	7月16日～18日	光ヶ丘野球場 他
	第49回 同 バスケットボール大会	8月13日～14日	国体記念体育館
	第53回 同 卓球大会	8月21日	酒田市体育館
	第43回 同 バレーボール大会	8月28日	国体記念体育館
	第47回 同 剣道錬成大会	8月28日	国体記念体育館
	第30回山形県少年少女スポーツ交流大会	10月2日主会期	県内各地
	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会	未定	未定
研修関係	第5回ジュニアスポーツフォーラム シニア・リーダースクール	6月12日 8月4日～6日	東京都 福島県会津自然の家
	第53回東北ブロックスポーツ少年大会	8月4日～7日	鹿児島県立南薩少年自然の家
	第60回全国スポーツ少年大会	8月4日～7日	金峰少年自然の家(鶴岡市)
	第58回山形県スポーツ少年大会・ジュニアリーダースクール	8月9日～11日	国立中央青少年交流の家(静岡県)
	シニア・リーダースクール	8月9日～12日	国立中央青少年交流の家(静岡県)
	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会(対面)	10月23日	県内4会場(庄内：いろり火の里なの花ホール)
	スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 (オンライン+対面)	9月～10月(講義・検定試験) 11月27日(グループワーク)	グループワーク会場：県スポーツ会館(山形市) 山屋セミナーハウス(新庄市)
	スタートコーチインストラクター移行研修会	10月～11月	全国7会場
	スタートコーチインストラクター養成講習会	10月～11月	大阪府
	県スポ少指導者・育成母集団研修会(兼庄内地区協議会研修会)	11月12日	公益研修センター(酒田市)
市スポ少本部指導者研修会	未定	未定	
講習会	指導者講習会・技術指導講習会	未定	サッカー、野球、バスケットボール、 バレーボール、剣道、卓球
表彰	酒田市スポーツ少年団本部表彰式 県スポーツ少年団表彰式	4月24日 11月13日	ル・ポットフー 県スポーツ会館
会議	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会 本部代議員会 庄内地区協議会理事会 庄内地区協議会代議員会 市町村スポーツ少年団事務担当者会議	随時開催 4月24日 5月13日・2月6日 5月13日 3月10日	ル・ポットフー 鶴岡市、庄内総合支庁分庁舎 鶴岡市 県スポーツ会館

令和3年度 酒田市スポーツ少年団本部登録団一覧表

No.	単位団 No.	少 年 団	代 議 員	団員数	指導者数	No.	単位団 No.	少 年 団	代 議 員	団員数	指導者数
1	001	琢成サッカー	佐藤 徹	10	3	41	147	十坂キッズ	清水 和久	22	4
2	003	琢成ミニバスケットボール	齋藤 浩二	7	3	42	151	宮野浦サッカー	佐藤 淳一	24	5
3	005	琢成剣道	佐藤いつ子	11	4	43	152	宮野浦野球	遠田 幸平	16	14
4	006	琢成卓球	加藤 弘良	9	4	44	153	宮野浦ミニバスケットボール	田代 正樹	36	8
5	011	浜田サッカー	竹内 大	11	3	45	154	宮野浦バレーボール	小寺 由一	18	3
6	012	浜田野球	菊地 真一	13	13	46	155	宮野浦剣道	中津 治	3	2
7	013	浜田ミニバスケットボール	岸 幸恵	14	5	47	179	平田ミニバスケットボール	高田 裕之	10	7
8	039	富士見	佐藤 健	73	28	48	189	ひらた卓球	庄司 学	2	3
9	041	亀ヶ崎サッカー	林賀 一郎	22	8	49	192	鳥海野球	池田 俊克	11	9
10	042	亀ヶ崎野球	村上 範昭	15	12	50	194	鳥海バレーボール	白幡 春喜	10	2
11	043	亀ヶ崎ミニバスケットボール	芳賀 久男	30	7	51	196	鳥海八幡卓球	島田 純	2	5
12	044	亀ヶ崎ミニバレーボール	蛭原 秀子	12	3	52	217	アテネ体操クラブ	五十嵐直基	21	2
13	045	亀ヶ崎剣道	吉川 文彦	12	2	53	237	酒田ジュニアソフトテニス	進藤 晃	16	11
14	046	亀ヶ崎卓球	木山 敏広	23	5	54	238	酒田 J r . K	大崎恵美子	9	5
15	051	松原サッカー	前田 正貴	20	3	55	257	S R Kジュニアクラブ	富樫 隆夫	82	4
16	052	松原野球	長南八重智	29	18	56	258	S R Kキッズクラブ	後藤 良	19	4
17	053	松原ミニバスケットボール	菅原敬太郎	23	12	57	277	酒田宮野浦少林寺拳法	加藤 明男	6	3
18	054	松原バレーボール	澁谷 和仁	15	3	58	300	若浜卓球	渡邊 孝介	11	5
19	055	松原剣道	松田 美法	5	3	59	301	若浜サッカー	渡會 徹	29	6
20	056	松原卓球	滝澤 琢也	8	2	60	302	若浜ミニバスケットボール	宮田 崇志	34	5
21	071	松陵	高橋 大	94	18	61	304	若浜バレーボール	武田 正祐	15	4
22	081	泉学区サッカー	石川 真喜	20	5	62	308	酒田市柔道	新田 道隆	15	4
23	082	泉野球	村上 太郎	15	8	63	401	八幡バレーボール	後藤 信人	12	4
24	083	泉ミニバスケットボール	池田 郁雄	24	6	64	402	一條サッカー	富樫 浩明	14	4
25	084	泉バレーボール	長谷川 司	7	4	65	404	八幡男子ミニバスケットボール	村上 智志	30	6
26	086	泉卓球	小笠原勝喜	8	8	66	407	Y.I.Cミニバスケットボール	池田 公平	15	10
27	099	西荒瀬	綱淵 芳幸	11	9	67	408	酒田市空手道	佐藤 英俊	8	5
28	103	新堀ミニバスケット	齋藤 純	12	5	68	502	松山剣道	三浦 均	2	3
29	104	新堀野球	太田 雅人	5	6	69	503	松山サッカー	石川 直紀	14	3
30	105	新堀剣道	齋藤 裕喜	1	5	70	504	松山ジャンプガールズミニバスケットボール	阿部 幸義	7	3
31	110	レンジャーズ野球	魚住 智寛	26	5	71	600	秋真館	長谷部 勝	9	4
32	119	広野	進藤 公成	18	20	72	602	南平田卓球	石黒 昌弘	1	4
33	129	浜中	川村 広道	26	7	73	605	平田ジュニアサッカークラブ	後藤 学	16	6
34	139	黒森	榎本 亜紀	2	5	74	607	平田小学生陸上	斉藤 淳	79	4
35	141	十坂サッカー	高橋 優介	16	7	75	608	南平田ミニバスケットボール	菅谷 浩二	16	8
36	142	十坂野球	佐藤 健	11	8	76	701	庄内バレー道場	小野寺 昭	11	4
37	143	十坂ミニバスケ	佐藤 祐介	11	12	77	702	TSN・Dears	酒井 健司	22	9
38	144	十坂バレーボール	加藤 裕介	2	5	78	800	東部 J B C 野球	久保田 潔	15	7
39	145	十坂剣道	五十嵐陽一	4	4	79	801	CJヤンキース	佐藤 宏明	26	11
40	146	十坂卓球	豊田 航太	5	4	80	802	酒南ジュニア柔道クラブ	安達 芳久	10	2
合 計										1,398	504

令和3年度 スポーツ少年団主催大会種目別結果

種目	大会名	期日	会場	結果
サッカー	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7/17(土)・18(日)	庄内空港緩衝緑地運動広場	優勝 平田 2位 浜田 3位 松原
野球	第49回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部野球大会	7/23(金)～25(日)	光ヶ丘野球場 松山多目的運動広場 平田小学校グラウンド	優勝 レンジャーズ 2位 松原 3位 宮野浦・CJヤンキース
卓球	第52回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部卓球大会	8/22(日)	酒田市体育館	男子団体 優勝 亀ヶ崎A 2位 泉 3位 十坂・若浜 女子団体 優勝 若浜 2位 亀ヶ崎A 3位 遊佐町 ホープス男子 優勝 齊藤 心平(琢成) 2位 佐藤 章瑛(亀ヶ崎) 3位 鈴木 光泉(遊佐町)・池田 幸孤(亀ヶ崎) ホープス女子 優勝 佐藤 瑚夏(ひらた) 2位 島田瑠々伽(鳥海八幡) 3位 柿崎 陽菜(泉)・小松原 唯(亀ヶ崎) カブ男子 優勝 柿崎 孝太(泉) カブ女子 優勝 阿部 愛佳(鳥海八幡) 2位 阿部 優奈(泉) 3位 佐藤 樹(琢成)・五十嵐杏奈(若浜) カブ新人男子 優勝 平 幸晟(泉) 2位 本間 蒼空(亀ヶ崎) 3位 鈴木 悠月(若浜)・齋藤 眺真(琢成) カブ新人女子 優勝 伊藤 早柚(亀ヶ崎) 2位 石山 心晴(遊佐町) 3位 栗田 奈侑(亀ヶ崎)・小松原舞楓(亀ヶ崎)
バスケットボール	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バスケットボール大会	10/9(土)・10(日)	国体記念体育館	男子 優勝 遊佐 2位 富士見 3位 八幡 女子 優勝 松原 2位 YUZU 3位 陵成・亀ヶ崎
バレーボール	第42回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バレーボール大会	11/3(木)	国体記念体育館	男子 優勝 宮野浦 2位 庄内バレード場 女子 優勝 松陵 2位 八幡 3位 松原・若浜
剣道	第46回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部剣道錬成大会	11/3(木)	平田B&G 海洋センター体育館	男子団体 優勝 遊佐町 2位 秋真館 3位 亀ヶ崎・広野 女子団体 優勝 琢成 2位 亀ヶ崎 3位 遊佐町

酒田市スポーツ少年団本部からのお知らせ

●スポーツ少年団指導者制度の改定

令和2年度より、スポーツ少年団の新たな指導者資格制度「スタートコーチ(スポーツ少年団)」「コーチングアシスタント」が始まりました。どちらも日本スポーツ協会(以下JSPPO)公認スポーツ指導者資格となっており、4年に1度の更新が必要です。

これに伴い、スポーツ少年団への指導者登録にはJSPPO公認スポーツ指導者資格の保有が必須となりました。令和5年度までは、資格の移行期間の措置として、旧指導者資格の「認定員」が保有する「スポーツリーダー」でも指導者登録することができま

す。「スポーツリーダー」のみ保有する方が令和6年度以降も指導者登録を行いたい場合、「コーチングアシスタント」に資格を移行することで登録が可能になります。資格の移行は、初回は講習等が免除されウェブ上で手続きで移行できます。

●JSPPO公認スポーツ指導者資格の取得に対する費用を補助しています

JSPPO公認スポーツ指導者資格の取得には、資格登録料として1万円(更新期間4年)、初期登録手数料として3千円の費用が発生します。

指導者並びに単位団の負担を少しでも軽減し、新指導者制度への円滑な移行を図るため、酒田市スポーツ少年団本部では、「スタートコーチ(スポーツ少年団)」「コーチングアシスタント」の資格取得に係る費用に対して次のとおり補助を行っています。

補助金額 / 1団体につき1万円

補助期間 / 令和5年度まで

◆補助期間を通して各団1回限りとしま

す。

◆初回登録から4年後の資格更新に係る費用については補助を行いません。

◆指導者制度の改定について、詳しくはJSPPOホームページ「スポーツ少年団」の「指導者養成」を参照してください。



令和3年度各種表彰

◇日本スポーツ少年団顕彰

◇工藤 海蔵(広野)

◇酒田市スポーツ少年団本部表彰

◇澤田 敏規(富士見)

◇若生 圭司(黒森)

(敬称略)

問い合わせ・連絡先

酒田市スポーツ少年団
本部事務局

〒998-8540

酒田市本町二丁目2番45号

酒田市教育委員会
スポーツ振興課内

☎0234-43-6651

✉sports@city.sakata.lg.jp